

移住者新聞

号外

二〇二二年八月
発行：日田市
ひた暮らし推進室

猛暑が続く夏本番。今年は暑いことで有名な日田市のみならず、全国至る所でも記録的猛暑が続いています。また、水災害も多く発生する夏になりました。行動制限がない3年ぶりの夏は人の行き来が活発になってきてます。できる限りの対策を引き続き行うとともに、お盆の帰省などでは家族や親せきとの久しぶりの再会を楽しみ、過ごしたいものです。今号は移住イベント最大の「移住者交流会」が行われた様子をお伝えします！



屋形船@三隈川

イベント当日の早朝に雨が降り、天候が心配されましたが、日中は良いお天気に恵まれました。なんと今回の会場は三隈川に浮かぶあの屋形船です！日田の人でもなかなか乗船する機会がない屋形船を、日田温泉旅館組合様のご協力のもと、使わせていただきました。

猛暑の中の受付でしたが、屋形船に乗り込むと涼しい風が船内に吹き込み、屋根の下が影になって、避暑地に来たような気分でした。

この日の参加者は約四十名。主催のNPO法人リエラのスタッフをはじめ、ひた暮らし応援団や飛び出せ公務員枠で中津市役所と県の職員さんも参加し交流会を盛り上げました。

十一時過ぎに二隻の屋形船が離岸し、船頭さんの舵の元、三隈川を周遊しました。船上から望む日田温泉街や亀山公園周辺の三隈川一帯の風景はとても新鮮で、参加者の皆さんもカメラやスマートフォンを片手にシャッターを切っていました。まるでゆったりと時間が流れているようで、一味違った三隈川を満喫することができたかと思えます。



スタッフ打合せの様子



屋形船から望む亀山公園



乗船開始



屋形船から望む日田温泉街

二隻の屋形船が一つに繋がると、交流会スタート！最初に参加者同士の自己紹介をはじめ、日田市に移住した経緯を質問し合ったり、日田の暮らしはどのような感じているかなど聞き合っていました。そして今回は日田の郷土料理である「たらおさ」、「もみじ」、「ぼんだんご」も振舞われました。中にはUターン移住をした参加者もいて、昔祖母が作ってくれて懐かしいと言われていました。意外に子供たちに人気だったのは「もみじ」で、器用に喜んで食べていました。

参加した子供たちも家族の垣根を超えてとても仲良く遊んでいました。交流会の時間も残すところ少なくなっていました。最後まで参加者同士の話が尽きることはなく、この屋形船で親睦を深められたことはとても有意義な時間だったでしょう。



日田弁クイズの答えはなんだ???



日本酒ゲットしました！



正解しますように・・・



わかったぞー！



この答えはこうじゃない？



知恵を絞りだしています！



皆打ち解けた様子でした☆



子供たちに人気だった「もみじ」
※鶏の足を甘辛く煮付けた郷土料理



素敵な眺めです♪



景品ゲット！



やっほー♪